脳情報通信融合研究センター（CiNet）の概要

CiNet: Center for Information and Neural Networks

Innovation　Brain　AI　Wireless　IoT

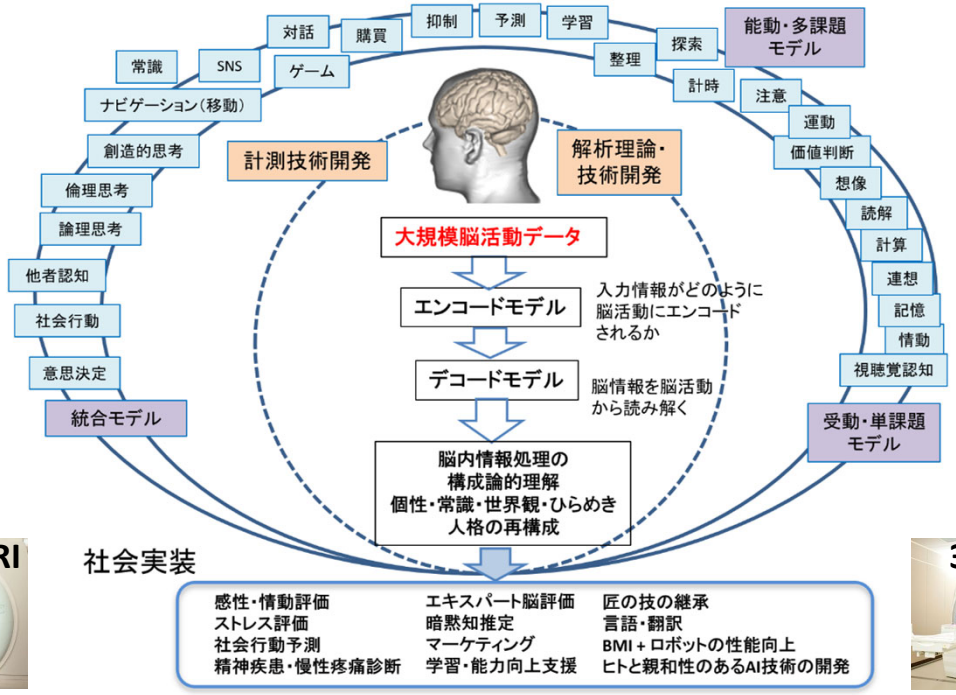
外部連携可

基礎研究　応用研究　技術実証　社会実証

概要

究極のコミュニケーションや人間の潜在能力の発揮を実現する新しいICTの創出を目指し、脳活動を多角的に計測・モデル化し、支援する技術などの脳情報通信技術の研究開発を実施しています。

人工脳（全脳のモデル化）：多種多様な入力情報を脳がどのように理解し、感じ、どのように判断し行動するかを再現できるモデル（人工脳）を構築する



社会実装

感性・情動評価	エキスパート脳評価	匠の技の継承
ストレス評価	暗黙知推定	言語・翻訳
社会行動予測	マーケティング	BMI＋ロボットの性能向上
精神疾患・慢性疼痛診断	学習・能力向上支援	ヒトと親和性のあるAI技術の開発

特徴

- 世界レベルの脳情報融合研究を実施
- 多角的な脳機能計測・解析基盤技術
- 産学官連携による社会実装への橋渡し

ユースケース

- 脳情報による商品・サービス評価
- 脳情報によるロボット制御（BMI）
- 脳情報による緊張緩和、運動・感覚機能の支援

今後の展開

- 脳情報による学習等支援
- BMIの低侵襲化、非侵襲化
- マルチモーダル脳計測データの共有によるオープンイノベーション

ニューノーマル社会関連

- 脳情報による嗅覚異常の検出
- テレワーク、テレプレゼンスにおける脳情報による非言語インターフェース（快適性や感情、スキル等の共有）

【お問合せ先】
国立研究開発法人情報通信研究機構 未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター
Mail：info@cinet.jp

Copyright © 2021 NICT All Rights Reserved.